

# 心・体・暮らしに寄り添う クリニックちくさヒルズ通信 NO.17

2022年7号

東京虎ノ門・麻布台ヒルズの中心に  
幹細胞再生医療クリニックを開業させていただきました。



クリニック  
東京虎ノ門 COR

2F 予約制  
医療法人財団 樹高会  
東京虎ノ門 COR  
Clinic Tokyo Toranomon COR

1  
診察室

2  
診察室

東京では整形外科を中心にPRPや幹細胞治療などの  
先端医療を採用し、先進的治療器具で  
1daySurgery(日帰り手術)を行っております。  
当医院では、患者様にスムーズに治療をお受けいた  
だくために完全予約制を行っております。

お電話でのお問い合わせ  
03-6403-1511

当クリニック  
林衆治院長



当クリニック  
整形外科医師  
岩田 久 先生

## 今号では「ブロック療法」についてお話してみましよう

腰椎間板ヘルニア、腰椎脊柱管狭窄症などの腰や下肢の傷みに  
効果の大きな治療方法の一つです

その場しのぎの治療ではありません！

「神経の炎症を抑える」「血流改善効果」「痛みの悪循環を断ち切る」

ブロック療法には、「仙骨裂孔ブロック」と「硬膜外ブロック」という二つのブロック療法があります。「硬膜外ブロック」とは、脊髄の外側に存在する腰椎硬膜外腔に局所麻酔およびステロイド剤を注入して神経をブロックする治療方法です。

一方、「仙骨裂孔ブロック」治療は、腰椎椎間板ヘルニアおよび脊柱管狭窄症において現在では最も頻繁に行われているブロック療法の一つです。

なぜ、この治療方法が多く行われているかと言いますと、第一には、患者さんへの負担が少ないこと、つまり低侵襲と言いますが、傷みがあまり感じることが無いということです。

そして、合併症が起きにくい(極少)と言うこと、更には手技的には寛容であることなどからこの方法が今や主流となっています。

また、一時的に幹部そのものの傷みを軽減させるだけではなく、傷みによる反射的な血管の収縮や筋肉の緊張を抑えることで長時間痛みを軽減させる効果が期待できる治療でもあります。

実際、当クリニックに治療に通われる患者様にも2~3回程度のブロックで良くなられる方が多くお見えになります。

### 「仙骨裂孔ブロック」治療の流れとしては、

まずは、血圧測定をお行います。それから、ベットにうつぶせの状態になっていただき、お腹の下に枕を入れます。

そして、尾骨近くに仙骨がありますが、その先端の仙骨裂孔から注射針を刺乳入して、仙骨から下部腰椎の硬膜外腔に麻酔剤とステロイド剤を注入します。

手技的にはこれで終わりですが、約1分程度です。その後20分程度ベットで安静にしていいただき、効果を確認の上帰宅していただくという流れです。

### 患者様へ

いずれにしても、ブロック療法とは、内服薬(飲み薬)や理学的療法、運動療法などでもなかなか治らずに、日常生活にも支障があるような場合に第一選択として行われます。

一般的な保存療法と手術による治療の中間的な位置づけの治療法と言えます。特に患者さんが手術を希望されない場合でも保存的治療の一つとして重要な役割を果たす治療方法です。



#### 健康の知恵袋

高齢者の熱中症、お気をつけて！  
高齢者に熱中症リスクが高いと言われる理由には  
1, 厚さを感じにくい  
2, 体内の水分量が少なくなる  
3, のどの渇きを感じにくい  
4, 我慢、辛抱をしてしまう  
この四つを知っとけば熱中症対策ができたも同じ



広報紙 「クリニックちくさヒルズ通信」  
発行 医療法人財団檜扇会 クリニックちくさヒルズ  
〒464-0858 名古屋市千種区千種2-24-2  
千種タワーヒルズ1F  
ご意見はこちらまで info@clinic-chikusahills.com  
編集・発行 医療法人財団檜扇会 クリニックちくさヒルズ  
編集委員会(原稿責任者 川島和信)  
発行日 毎月10日